



甘楽町広報



秋祭りへ

ナンテコ ナンテンツク
強く 或は弱く
祭り太鼓の音いろの妙は
ばちさばきてきまる

小樽一乃石の

栄枯盛衰の歴史が

語りつがれた城下町は

いま 祭りばやしの練習に

余念がない

古来の

しゃれたる白駒と

板についた神な身ぶりに

感嘆のささやきが流れ

御土宮殿をうけつこうとする

雲らの真剣な顔に

秋の灯がひかる

鎮守の森の

笛や太鼓に誘われて

母に手をひかれ

日巻れの星道をいそいだ

幼い日が 憶ばれる

54年 **9月号** No.238